

博物館と学芸員

を目指す

同物異名



右側最上段：多足式直播機（東川町郷土館）、たこ足直播機（幕別町ふるさと館）
上段：種蒔器（旭川兵村記念館）、たこ足式直播器（当麻町郷土資料館）、直播機（富良野市博物館）
中段：たこ足直播器（本別町歴史民俗資料館）、水田直播機（美瑛町郷土資料館）
下段：水稻直播器（北海道博物館）、水稻直播器（札幌農学校第2農場）、籾蒔機（北鎮記念館）

たこ足という農具がある。両手で抱えて水田に浮かべ、穴の開いたブリキ板をスライドさせると種もみが落下、左右合わせて6-8列16-24箇所にまき付けられる。立ったままで作業でき、腰への負担を軽減した道具は広大な面積を効率良く作業可能とした。かつての北海道の水田耕作は苗代を用いず種もみを直まきしており、たこ足は水田耕作を定着に導いた農具、すなわち北海道開拓の記念物として各地の博物館に展示されている。ところが、この農具は博物館や書籍によって

名称がバラバラなのである。表紙で示した北海道の各地に伝わる資料の名札でも、耨蒔機、種蒔器、直播機、水田直播機、水稻直播器、多足式直播機、たこ足直播機、たこ足直播器、たこ足式直播器、など施設によって見事に異なっている。器と機、「まく」は蒔か播か、式の有り無しなど漢字表記の相違から、対象は蒔か種か、水田か水稻か、表記は機構か形態か、など表記揺れを誘う源もまた多様である。さらば国はどうか。農林水産省が所管する国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）のウェブサイトでは、「たこ足」について水稻直播機と記載する一方、北海道で用いられた器具については木原式、蛸足式、タコ足式と1ページに満たない短い解説でも表記が揺らいている。いったい何が正しい名称なのか。現在の状況では

検索可能性が著しく阻害されている。自身が知る名称で台帳や目録を探しても、目的の資料へ容易にはたどり着けない。ラテン語を用いた世界共通の学名や、日本国内での統一名称である和名が存在する生物とは異なる人文系の資料に広く見られる現象である。肝心の名称が定まっていない現実には、利用者にとっては資料に行き着けない、博物館にとっては収蔵資料の比較ができないことを意味する。学芸員は知識と経験から「あたりをつける」「複数名称で検索する」「あえて俗称を用いる」などの方法で仕事をこなしており、一見問題は無いかのように見える。だが、現在の状況は研究者だけが資料情報を独占している。つまり、

資料へのアクセスが万人に向けて保証された状態ではない。図書館では書名は正しく1つに特定された状態が前提にあり、うろ覚えの書名から正しい本を導く、調べたい希望事項から適切な参照文献を提示するレファレンスサービスが実現している。他方、博物館ではデータベースやネット環境が整備され、世界の資料情報にアクセス可能となっても、人文系資料は探し出すことすらままならない。結果、よく知られている資料だけが何度も利用される状況が繰り返される。未利用の資料に可能性が眠ったままにあり、知識の限界が好奇心の広がりを閉ざしてしまう。これでよいのだろうか。もっと高いレベルで博物館が利用され、様々な発想や欲求に学芸員が応える、そんな結果が生み出されるような工夫が必要ではないかと思うのである。

博物館情報学研究室・教授 宇仁義和（うに・よしかず）

令和5年度東京農業大学学術情報課程（オホーツクキャンパス）経過報告

1. 開講科目

科目名	単位	開講年次	担当教員	教科書
博物館概論	2	1年前期	宇仁義和	オリジナルテキスト
博物館教育論	2	1年後期	宇仁義和	オリジナルテキスト
博物館資料論	2	2年前期	柳谷卓彦	全博協西日本部会編2012『新時代の博物館学』
生涯学習概論	2	2年前期	宇仁義和	オリジナルテキスト
博物館資料保存論	2	2年後期	柳谷卓彦	石崎武志2012『博物館資料保存論』
博物館展示論	2	2年後期	町田善康	オリジナルテキスト
博物館情報・メディア論	2	3年前期	宇仁義和	オリジナルテキスト
博物館経営論	2	3年後期	宇仁義和	オリジナルテキスト
博物館実習	3	3・4年通年	宇仁義和・柳谷卓彦	オリジナルテキスト

2. 館園見学

学年	見学施設	分野	設置者・運営者・博物館法による区分
1年	博物館網走監獄	建築・歴史	私立・登録
1年	網走市立郷土博物館・モヨロ貝塚館	総合・考古	公立・登録
1年	北海道立北方民族博物館	民族・考古	公設民営・登録
2年	釧路市動物園	動物園	公立・類似
2年	釧路市立博物館	総合	公立・登録
2年	エコーセンター2000	公民館	—
2年	網走市立美術館	美術	公立・登録
2年	北網圏北見文化センター	総合	公立・登録
2年	足寄動物化石博物館	自然史	公設民営・類似
3年	網走市立郷土博物館丸万収蔵庫	産業史・民俗	公立・登録
2/3年	美幌博物館	総合	公立・登録
3年	旭川市科学館	科学館・プラネタリウム	公設民営・登録
3年	北鎮記念館	歴史	国立・類似
3年	サッポロビール博物館	企業博物館	私立・類似
3年	北海道大学植物園・博物館	植物園・大学博物館	国立・相当
3年	札幌市円山動物園	動物園	公立・相当
3年	小樽水族館	水族館	公設民営・相当
3年	札幌農学校第2農場	建築・産業史	国立・類似
3年	北海道大学総合博物館	ユニバーシティ・ミュージアム	国立・類似
3年	北海道博物館	総合	公立・類似
3年	オホーツク流水館	観光展示施設	公設民営・類似

北網圏北見文化センターでは非常勤講師の柳谷卓彦氏の引率により収蔵庫を見学し、詳しく解説いただいた（2年・博物館資料保存論）



3. 授業から

1) 外部講師による授業

今年度の外部講師を招いた特別授業は、例年実施している標津サーモン科学館の市村政樹館長による「サーモン科学館の管理運営について」（3年・博物館経営論）、昨年からはじめた足寄動物化石博物館の新村龍也学芸員による「3DソフトBlenderを使った仮想展示室の作成およびLiDARスキャナとフォトグラメトリ」（3年・博物館実習）および道東テレビ・立川彰ビデオグラファー代表取締役の指導で動画編集ソフトfilmoraを用いた「道東テレビ的東京農大生向け映像制作教室」（3年・博物館情報・メディア論）を継続、そして新型コロナで中断していた知床財団の専門職員による「ヒグマトランクキットの解説と体験」（1年・博物館教育論）を復活させた。



左上：「道東テレビ的 東京農大生向け映像制作教室」（3年・博物館情報・メディア論）、右上：「3DソフトBlenderを使った仮想展示室の作成およびLiDARスキャナとフォトグラメトリ」（3年・博物館実習）
左下：「サーモン科学館の管理運営について」（3年・博物館経営論） 右下：「ヒグマトランクキットの解説と体験」（1年・博物館教育論）

2) 新型コロナウイルスの影響

実習では本年においても新型コロナウイルスの影響が残った。コロナ以前から実施していた網走市社会福祉協議会の指導による車椅子介助体験実習（3年・博物館実習）は指導者の職場の特性を考え中止とした。また、札幌博物館見学旅行では自主的な判断により昼食の場所を貸し切りバスの中とした。これら以外については、通常の授業は平時の対面に戻り、講義や他の学内実習への影響はなく見、学館園の開館状況も通常に戻っており新型コロナウイルスの影響は受けなかった。授業回数は大学の方針により、講義では15回のうち2回を遠隔授業とすることが定められた。これは文部科学省が卒業要件となる124単位のうち60単位は遠隔授業を含む「メディア授業」とすることを可能、残りの64単位も半分未満は可能とした措置を受けた対応である。学術情報課程の授業では、遠隔授業分を見学に充てた科目もあった。

3) 博物館見学

見学は通常の状態で行うことができた。釧路市動物園では飼育動物不在となっているヒグマ舎のバックヤードと展示場の内部を見学、釧路市立博物館では課程修了者の学芸員から解説を受ける機会を得た。



左上：釧路市立博物館、右上：釧路市動物園（いずれも2年・生涯学習概論）、左下：網走市立郷土博物館丸万収蔵庫（3年・博物館実習） 右下：美幌博物館（2年・博物館展示論）

ポスター題字
古城佑有



4. 農大ロビー展

1) 農大ロビー展2023「マッコウと危険なカワイイ生物図鑑」

期間：2023年12月9-19日（11日間）

会場：小清水ツーリストセンター（小清水町浜小清水）

主催：東京農業大学学術情報課程（オホーツクキャンパス）

協力：小清水町観光協会

今年度は筋肉や羽毛など生物の軟組織を中心に展示を作成した。ジムグリの幼蛇の生体や寄生虫の標本、紙粘土製のミズダコ模型が展示されたほか、中華料理店のテーブルを模したコーナーなど工夫が見られる内容となった。展期間中の来場者は自動カウントで1,125人だった。

2) 昨年度の展示「骨の随までホネざんまい」

「ホネざんまい」の一部資料は、標津サーモン科学館（2/2-6/26）と斜里町立知床博物館（6/29-7/16）で巡回展示された。その後、夏のオープンキャンパスと高大連携プログラムに向けた特設コーナーでも陳列した。



左：北方圏農学科から借用したエミュの模型を中央に配置、ほかに大型実物資料としてエゾシカの毛皮と枯角を展示した
右：夏のオープンキャンパスの特設コーナーで昨年度の展示「ホネざんまい」の一部資料を陳列した

5. 館園実習

本年度の実習生は26館29名（3年生18名、4年生10名、科目等履修生1名）、受入先は北海道7館8名、福島県2館2名、栃木県2館2名、千葉県1館1名、東京都1館3名、神奈川県1館1名、新潟県1館1名、長野県1館1名、静岡県3館3名、三重県1館1名、広島県1館1名、高知県1館1名、大分県1館1名、宮崎県1館1名、沖縄県2館2名であった。館園実習は16年目となるが、今年は新規の受入館が10館と例年になく多かった。

お忙しいなか、実習生を受け入れてくださった館園にお礼申し上げます。

○北方圏農学科 3年生4名、4年生2名、計6名

49521000	女子学生	標津サーモン科学館	2023.8.13-8.23
49521000	女子学生	ネオパークオキナワ	2023.9.1-9.15
49521000	女子学生	静岡市立日本平動物園	2023.8.1-8.5
49521000	女子学生	札幌市円山動物園	2023.8.31-9.5
49520000	男子学生	宮崎県総合博物館	2023.8.16-8.25
49520000	男子学生	「食と農」の博物館	2023.12.11,12,14-16

○海洋水産学科 3年生12名、4年生8名、計20名

49621000	男子学生	郡山市ふれあい科学館	2023.9.6-9.13
49621000	女子学生	むろと廃校水族館	2023.9.4-9.17
49621000	女子学生	栃木県なかがわ水遊園	2023.8.17-8.30
49621000	男子学生	千葉県立中央博物館	2023.8.23-8.30
49621000	男子学生	美幌博物館	2023.8.23-8.30
49621000	男子学生	掛川花鳥園	2023.9.5-9.12
49621000	女子学生	伊豆・三津シーパラダイス	2023.7.27-8.5
49621000	男子学生	新潟市水族館マリニピア日本海	2023.9.11-9.19
49621000	男子学生	サケのふるさと千歳水族館	2024.3.6-3.19
49621000	女子学生	白馬五竜高山植物園	2023.8.21-8.27
49621000	男子学生	横須賀市自然・人文博物館	2023.8.15-8.25
49621000	女子学生	黒島研究所	2023.9.4-9.18
49620000	男子学生	鳥羽水族館	2023.11.18-12.2
49620000	女子学生	北海道立北方民族博物館	2024.1.30-2.4
49620000	男子学生	栃木県子ども総合科学館	2023.8.18-8.24
49620000	男子学生	ふくしま海洋科学館アクアマリンふくしま	2023.9.21-9.30
49620000	女子学生	「食と農」の博物館	2023.12.11,12,14-16
49620000	男子学生	標津サーモン科学館	2023.9.18-9.22
49620000	女子学生	網走市立美術館	2023.9.1-9.10, 13
49619000	男子学生	「食と農」の博物館	2023.11.2-5, 7

○食香粧化学科 3年生2名

49721000	男子学生	広島市安佐動物公園	2023.8.9-8.13
49721000	女子学生	大分香りの博物館	2023.9.16-9.25

○科目等履修生 1名

14623000	男子院生	標茶町博物館ニタイ・ト	2024.2.2-4, 6, 9
----------	------	-------------	------------------

博物館実習受入館園 (2008-2023)

○ これまでの受入館園の県別数

北海道 23

青森 2、岩手 1、宮城 2、秋田 1、山形 2、福島 2

茨城 3、栃木 2、群馬 5、埼玉 5、東京 11、千葉 3、神奈川 10

新潟 5、長野 4、静岡 6

愛知 5、岐阜 1、三重 2、富山 2、福井 1

大阪 2、兵庫 2、和歌山 3

岡山 2、広島 1、島根 2、山口 2

香川 1、愛媛 2、高知 2

福岡 1、長崎 3、大分 2、宮崎 1、鹿児島 3

沖縄 5

計 131個所

中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」

草津熱帯園

群馬県立自然史博物館

白馬五竜高山植物園

市立大町山岳博物館

角津水族館

長野県立自然史博物館

松本市アルプス公園

富山県立自然博物館

福井県立恐竜博物館

世界淡水魚園水族館アクア・トクトゾ

豊橋総合動植物公園 (動物園) / 豊橋市立自然史博物館

池田動物園

碧南市水族館・碧南市青少年海の科学館

島根県立美術館

島根県立美術館

三重県総合博物館

三重県総合博物館

三重県総合博物館

三重県総合博物館

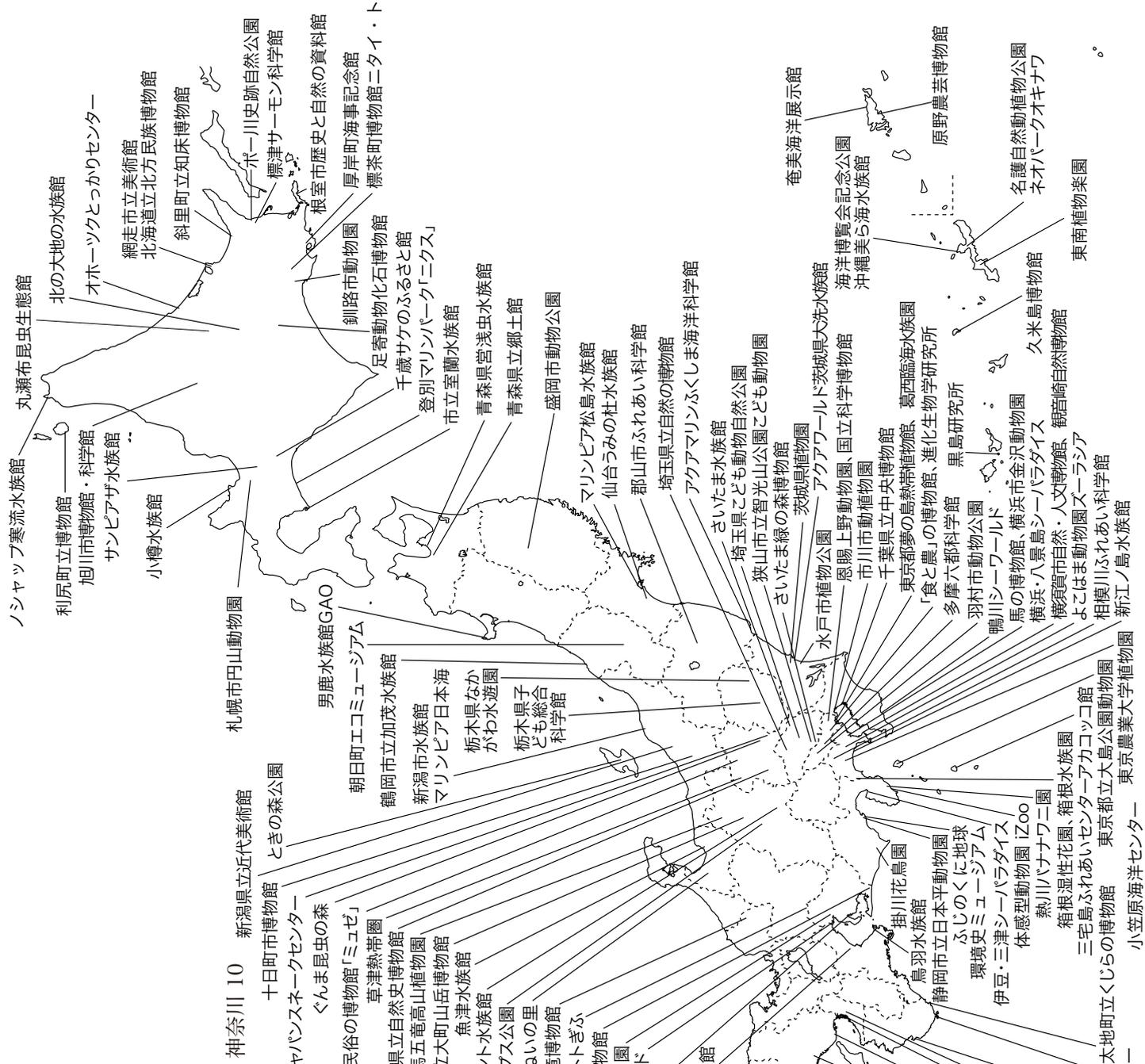
三重県総合博物館

三重県総合博物館

三重県総合博物館

三重県総合博物館

三重県総合博物館



6. 年間カレンダー (2023年)

4月7日	教職・学術情報課程新入生ガイダンス
5月10日	網走市立郷土博物館丸万収蔵庫見学 (3年生)
5月16日	受講許可者確定 1年生39名 (北農9・海洋29・自然1)、科目等履修生2名
5月16-17日	網走市立美術館およびエコーセンター2000の見学 (2年生)
5月30日、6月1日	網走市立郷土博物館見学 (1年生)
6月6・8日	北海道立北方民族博物館見学 (1年生)
6月13・15日	博物館網走監獄見学 (1年生)
6月28日	「動画の編集と撮影」講師：道東テレビ代表取締役 (博物館情報・メディア論)
6月30日、7月5日	美幌博物館見学 (3年生、2年生)
7月8・15日	釧路市動物園および釧路市立博物館見学 (2年生)
10月11日	「3Dアプリで仮想展示室作成」講師：足寄動物化石博物館学芸員 (博物館実習)
10月27-29日	札幌博物館見学旅行 (3年生)
11月15日	オホーツク流水館見学 (3年生)
12月2日	足寄動物化石博物館見学およびミニ化石発掘体験 (2年生)
12月9-19日	農大ロビー展2023「マッチョと危なカワイイ生物図鑑」小清水ツーリストセンター
12月12・13日	農大ロビー展見学会 (2・1年生)
12月13日	「ヒグマトランクキット」講師：知床財団専門員 (博物館教育論)
12月14日	「水族館経営の実際」講師：標津サーモン科学館館長 (博物館経営論)
12月15日	北網圏北見文化センター見学 (2年生)

7. 博物館などの採用実績

【新卒および現役】

海洋水産学科 男子 鴨川シーワールド (株式会社グランビスタ ホテル&リゾート)

海洋水産学科 男子 沖縄美ら海水族館 (沖縄美ら海財団)

海洋水産学専攻 男子 標茶町博物館ニタイ・ト (学芸員)

【既卒者】 アクアバイオ学科2021年3月卒業 女子 AOA Sapporo (小樽水族館契約社員)

【これまでの就職先】 上記以外で現在在職中あるいは一度でも在籍者がいた施設

オホーツク流水館／濤沸湖水鳥・湿地センター／美幌博物館／紋別市立博物館／野付半島ネイチャーセンター／霧多布湿原センター／釧路市立博物館／札幌市円山動物園／サンピアザ水族館／小樽水族館／登別マリンパークニクス／のぼりべつクマ牧場／えりも町郷土資料館 (北海道)、南三陸町自然環境活用センター準備室 (宮城県)、東北サファリパーク (福島県)、アクアワールド茨城県大洗水族館 (茨城県)、宇都宮動物園 (栃木県)、千葉市動物公園「ふれあい動物の里」 (千葉県)、さいたま水族館 (埼玉県)、上野動物園／多摩六都科学館 (東京都)、長岡市寺泊水族博物館／十日町市博物館 (新潟県)、富士山こどもの国／富士サファリランド (静岡県)、南知多ビーチランド／レゴランド (愛知県)、京都水族館 (京都府)、海遊館 (大阪府)、串本海中公園 (和歌山県)、名護自然動植物公園株式会社「ネオパークオキナワ」 (沖縄県)